



12月号

令和5年12月1日

神根小だより

川口市立神根小学校
在籍児童293名16学級



挨拶は心を開いて自分から

校長 篠崎 弘敬

11月10日、11日には校内音楽会を無事終えることができました。お忙しい中ご来校していただきありがとうございました。保護者の皆様には、子供たちの頑張りや成長を見ていただけたのではないかと思います。音楽会の感想には、本校の児童の成長や職員の指導に対して温かいお言葉をいただきありがとうございました。改善点につきましても検討し来年度に活かしていきたいと思っております。保護者の皆様の感想にもあります励ましと期待の言葉を胸に今後も教育活動を充実させていきたいと考えております。

15日、16日には6年生と一緒に日光方面に修学旅行に行きまして。6年生にとっては、初めての宿泊行事です。私が感心したのは、お世話になった方々に対してしっかりと「挨拶」ができていたことです。バスの運転手さんやホテルのスタッフの方に対して気持ちよく「挨拶」をしている子が多く、嬉しい気持ちになりました。6年生の成長を充分感じることであった行事でした。修学旅行時に見せてくれた「挨拶」を全校児童に広めていきたいと思っております。

私は、毎朝校門付近に立って児童たちと「挨拶」を交わしています。「おはようございます」と大きな声で「挨拶」をしてくれる児童、手を振ってくれる児童、小さな声で「挨拶」をしてくれる児童などその様子は様々です。最近では、下級生に対して「挨拶」することを優しく促している6年生もいます。

「挨拶」の「挨」は、心を開くという意味があります。「拶」には、相手に近づくという意味があります。人間関係を円滑に構築していくためには、相手に心を開き、自分から相手に近づく必要があります。その第一歩が「挨拶」ではないでしょうか。心が素直な神根小学校の子供たちには、「挨拶の大切さ」を教え、しっかりと「挨拶」ができるようになって欲しいと願っています。そして将来円滑な人間関係を構築し、社会人として立派に活躍して欲しいと思っております。

保護者の皆様には、「挨拶」をする意味や、人生経験の中で「挨拶」をして人間関係が良くなった等の体験をお子さんに語っていただくと幸いです。何気ないご自身の体験を語ることで子供の心に残り成長を促します。

2学期もお世話になりました。12月は、2学期のまとめがしっかりとできるように教育活動を行って参ります。今月もどうぞよろしくお願いいたします。

明治6年開校 やる気と根気で夢をかなえる神根っ子

かしこい子
みんな仲良く
助け合う子
おぼりづよい子

150
ANNIVERSARY

川口市立神根小学校